

令和2年度 事務事業総点検シート(1)  
[ 令和元年度事務事業 ]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	子育て支援情報発信事業			シート番号	014-004
担当部署名	子ども青少年	局	子ども青少年育成	部	子ども企画
				課	評価責任者(課長名)
					櫻田

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	3	次代を担う子どもを健やかにはぐくみます	後期実施計画の位置付け
			施策	2	社会全体で子どもをはぐくむ仕組みづくり	無
	2	事業開始年度	平成 28 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)				
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	必要とする子育て支援情報を確実に届けるため、これまで多様な広報媒体を活用した事業周知を行っているが、子育て層で高い利用率となっているスマートフォンを活用した、より効果的な情報発信を行っていく必要がある。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ( )					
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	堺市内子育て世帯					
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	妊娠中や子育て中の市民が必要な支援やサービスを確実に利用することができるよう、本市の子育て支援等の情報を利用者それぞれの状況に応じてタイムリーに分かりやすく提供する。					
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	子育て層の利用率が高いスマートフォンを活用したアプリ「さかい子育て応援アプリ」を活用し、子どもの生年月日(出産予定日)等の利用者登録に応じたタイムリーな情報提供、地図やカレンダー機能を活用した子育て施設やイベントの検索、健診や予防接種のスケジュール管理のサポートなど、子育て家庭が必要とする情報を分かりやすく提供する。また、スタンプラリー機能を活用したイベントを展開し、育児や家族連れの外出をサポートする。 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )					
10	直接実施以外の主な支出先	株式会社スマートバリュー						

Ⅲ. 投入量

項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
事業費(a)	千円	2,546	1,172	5,705	4,005	3,342	1,527	3,352	
主な事業費内訳	委託料	千円	1,264	1,102	4,985	3,721	2,542	1,112	2,552
	印刷製本費	千円	180	70	720	116	400	187	400
	報償費	千円	0	0	0	168	400	228	400
	役務費	千円	1,102	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	3,339	2,865	800	424	800
財源内訳	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
	市債	千円							
	その他( )	千円							
一般財源	千円	2,546	1,172	2,366	1,140	2,542	1,103	2,552	
12	人件費(b)	千円	1,640	1,640	2,460	2,460	1,620	2,430	2,460
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	4,186	2,812	8,165	6,465	4,962	3,957	5,812

## 令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	子育て支援情報発信事業	シート番号	014-004
-------	-------------	-------	---------

### Ⅳ. 評価(測定・分析)》

#### ロジックモデルの考え方



#### 事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	<p>・各種イベントや子育て支援情報に加え、子どもの生年月日等の利用者登録に応じた情報提供をアプリを通じて行った。                  ・堺市で子育てをおこなう世帯に広くアプリを導入していただくために、スタンプラリーイベントの実施や、区役所に来所された妊婦や子育て世帯に対する子育て応援アプリのチラシの配布、広報等にアプリのQRコードを掲載する等、積極的に広報・周知を行った。                  スタンプラリー実施回数: 1回                  令和2年3月末時点アプリダウンロード数: 19,638</p>						
	15	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		アプリ「さかい子育て応援アプリ」のダウンロード数	件	目標値	6,500	14,500	18,500	22,500
			実績値	11,093	15,486	19,638		
			達成率	171%	107%	106%		
	算出方法・設定根拠など		本市の前年度の第1子出生数を上乘せた件数を目標値として設定					
	16	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
		目標値						
		実績値						
		達成率						
		評価	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		

#### 事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	アプリ「さかい子育て応援アプリ」のダウンロード数	件	11,093	15,486	19,638
	②	上記①にかかる年間経費	千円	2,812	6,465	3,957
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	254	418	202
		備考(算出についての説明等)				
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
		備考(算出についての説明等)				

#### 業績の分析

	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
19	<p>ダウンロード数は、安定して目標を達成できている。スタンプラリーイベントの実施や、妊娠届出や出生届時にチラシの配布等を行ったことが要因と考えられる。                  現状のシステムの仕組みでは、ダウンロード数を把握できるのみで、アプリから発信する情報がどのように、またどの程度活用されているかを数値により確認することができないことが課題である。                  アンケートの実施など、適宜ニーズにあった情報発信ができていないかの把握に努め、情報発信ツールとしての有効性の向上につなげていく。</p>

**【分析のチェックポイント】**

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	子育て支援情報発信事業	シート番号	014-004
-------	-------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。 ⇒  確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	<b>事業廃止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	<b>廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 予防接種スケジュール・子育て日記帳・保育施設の検索・子育て情報等を発信し、子育て世帯にとって非常に有用なツールであることから廃止できない。	
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	<b>事業休止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	<b>休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> Q20のとおり。	<b>休止の場合の再開時期</b> <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	<b>コストの縮減</b> <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 縮減できない	<b>縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由</b> チラシの印刷部数を検討し直すことでコストを縮減できる。また、今後のスタンプラリーイベントの実施は見送る。	
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	<b>事業手法の適切性</b> <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	<b>改善する場合は改善策、その他は理由</b> アプリ運營業務の委託が主であり、改善する必要はない。	
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□) ① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input checked="" type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 (                      ) 関連事業名 (                      ) ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他(                      )	理由・説明	アプリの管理運営は業務委託しており、契約業者とのやりとりは電話もしくはメールにて行っており、月初には前月までのアプリの運営状況の報告を必須する等、密に連携をとっている。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	<b>事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 <b>公金投入の方向性</b> <input type="checkbox"/> ゼロ <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	<b>実施年度</b> <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降		
		所見	アプリの運営については、利用者の需要に沿って今後も内容を定期的に改善しながら継続していく方針である。しかし、アプリの周知方法については、チラシの印刷部数の見直し・スタンプラリーイベントの実施内容の精査をおこない、公金投入額が最小限となるように検討していく。		